

# 第二次生涯学習基本計画 概要版

## 第1章 計画策定の背景

<b>1 環境の変化</b>	
<b>1 長寿社会の到来</b> ・すべての世代において学び続けることのできる環境が必要 ・元気な高齢者が社会の支え手として、活躍できる環境づくりが必要 <b>2 人口減少・少子高齢化、ライフスタイルの変化</b> ・地域における子どもの学びの機会が減少 ・地域課題が多様化する中、地域の担い手は減少	<b>3 グローバル化・技術革新等に伴う社会変化</b> ・急激な社会変化に対応し豊かな人生を送るために、自ら考える学習が重要 ・資格取得や技術習得等、自ら必要な知識を得る取組が重要 ・情報技術を活用するため「メディア・リテラシー」が必要
<b>2 本市の現状と課題</b>	
<b>1 山口市生涯学習基本計画における取組と課題（抜粋）</b> ・「今後、生涯学習活動をしてみたいと思う市民の割合」は減少傾向 ・地域交流センター利用者数は増加。裾野を広げる取組は一定の成果有 ・学習相談に対応できる体制の整備は、情報の収集や人材育成等に課題 ・地域づくりを担う人材の育成は、依然大きな課題 ・「やまぐち路傍塾」については、対象の拡大など多様化する学習ニーズに応える取組が必要 ・地域交流センターと地域の団体とのさらなる連携が必要 ・地域課題や多様なニーズに応える学習メニューを提供できる体制づくりが課題 ・民間企業や市民活動団体との連携体制の構築が課題 ・生涯学習を総合的に支援する機能の整備に向けた取組が必要 <b>2 アンケートに見る現状と課題（抜粋）</b> ・学習活動を「特にしていない」人が増加（36.4%→45.0%） ・学習方法については、「本」（39.3%）、「職場での仕事」（36.8%）、「インターネット等」（29.6%）が多い ・学習情報収集方法については、50歳代以下では「インターネット」が多く、60歳代以上では「自治会回覧」が多い	・現在、学習活動をしていない人のうち、学習したいと思わない人の学習阻害要因については、「きっかけがない」、「時間がとれない」などと共に「仲間がいない」も多く、きっかけとなる取組や同じ目的を持った仲間づくりが必要 <b>3 地域の学びを支援するために必要な人材の要件及び育成のあり方について調査研究報告書（平成29年8月山口市社会教育委員会議）（抜粋）</b> （地域交流センターに必要な「学び」） （1） 学びの対象（何を学ぶか）の明確化 （2） 以下を基盤に事業展開し、学びのプロセスを通して獲得される社会教育のノウハウを、「学びの支援システム（インフラストラクチャー）」として蓄蔵する。 ・持続可能な経済活動や地域の活性化を図るために、集団学習の場を設け、相互作用を促すこと。 ・歴史など、地域の誇りを次代に継ぐための学びの場や、情報が錯綜する現代において物事の背景を見極め何が正しいかを学び取る力をつける場を提供すること。 ・実践による経験や練習による疑似体験を経ること。 （3） センター職員が専門的な研修を積み、多様な教育及び学習のニーズに適正に対応

## 第2章 基本方針

本市が目指す生涯学習社会の姿

**基本方針**

**基本理念**

学んで輝けるまち 山口  
“見つける 育む つながる”

**基本目標**

- 生涯にわたり、学びたいことを学べるまち
- 学びを通じて、人や地域、社会とつながるまち

人生100年時代、やりたいことを見つけ、育み、それを生かすことで社会とつながり、その中で再び学びを得るという学びの循環の中で、すべての市民が生き生きと輝けるまちを目指す

本市が目指す生涯学習社会の姿を実現するため、すべての施策を横断する概念として次の学びの循環を構築することを目指す

- 学びたいことを見つける
- 知識を育む
- 学びを生かしてつながる

基本理念である「学んで輝けるまち 山口 “見つける 育む つながる”」を実現するために、目指すべきまちの姿として、「生涯にわたり、学びたいことを学べるまち」、「学びを通じて、人や地域、社会とつながるまち」の2つの基本目標を設定

## 第3章 前期推進計画

1 前期推進計画の概要

**1 構成**

**推進計画**

**重点プロジェクト**

- 市民に身近な学習充実プロジェクト**
  - 効果的な学習情報の提供
  - 学びにつながる仲間づくり
  - ニーズを踏まえた学習の提供
  - 地域への愛着を育む学習の推進
  - 地域交流センターにおける社会教育機能の充実
  - 参加しやすい学習機会の提供
  - 人材の活用・充実
- 山口の特色を生かした学習環境づくりプロジェクト**
  - 関係機関との連携強化
  - 大学と連携した人材育成・活用
  - 市の施設の特性を活用した学習機会の提供

**推進体制**

市の関係部署・施設間の連携強化

関係機関・団体、民間等との連携・協力体制の確立

計画の進行管理

本推進計画では、基本目標で掲げる2つの「目指すまちの姿」を達成するための重点的な取組として、「市民に身近な学習充実プロジェクト」及び「山口の特色を生かした学習環境づくりプロジェクト」の2つの重点プロジェクトを推進し、事業を効果的に展開するとともに、本市における推進体制や計画の着実な推進のための指標を設定し、進行を管理します。

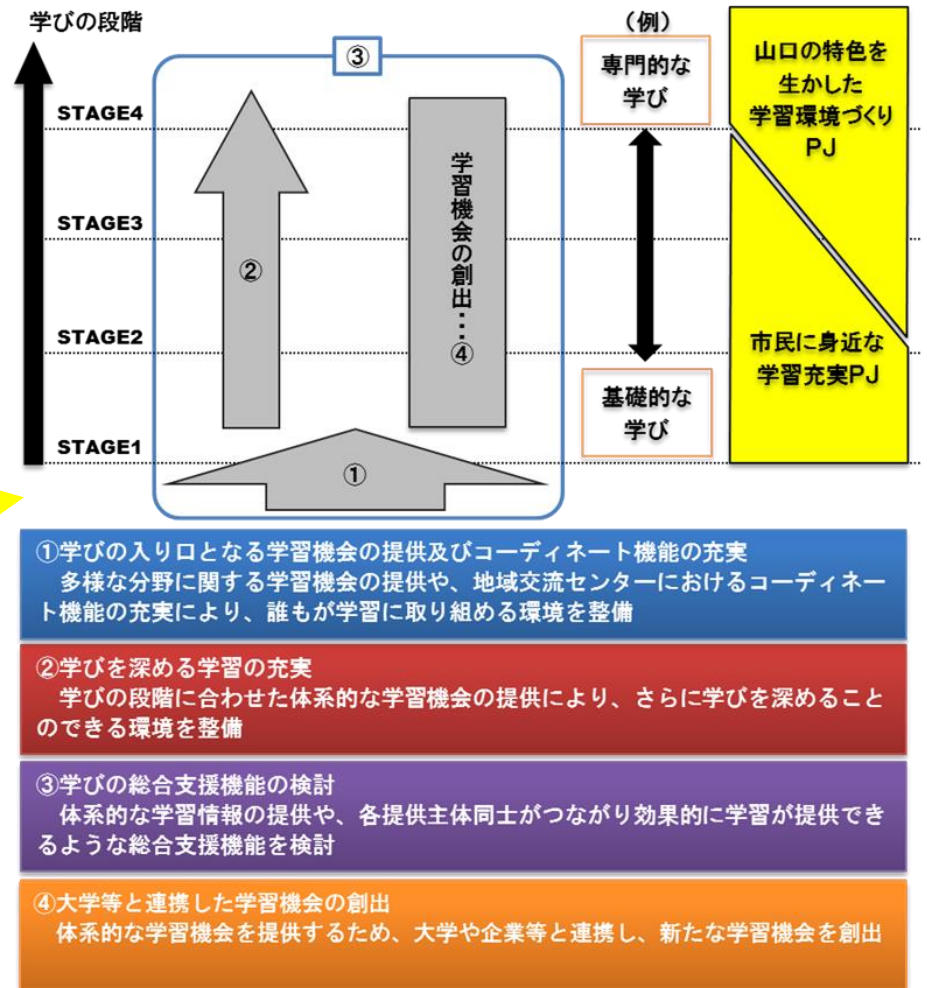
# 1 前期推進計画の概要 (続き)

## 2 重点プロジェクトの設定

これまで地域交流センターを中心とした学びの提供により、学びの裾野を広げる取組を進め(右図①)、一定の成果を上げています。また、大学等の高等教育機関が実施する公開講座や山口情報芸術センターをはじめとする高度な学習機会が提供されていることも、本市の有する特徴であると考えます。

今後、地域における学びのきっかけづくりとなる取組を引き続き充実させるとともに、変化の激しい社会において、専門的な学習にも進むことができる、学びの段階に合わせた体系的な学習機会の提供(右図②、④)を進めます。

こうした中で、学びのきっかけづくりとなる取組を「市民に身近な学習充実プロジェクト」として、また、大学等と連携し、山口らしい高度で専門的な学習を提供しつつ、シビックプライドの醸成を図っていく取組を「山口の特色を生かした学習環境づくりプロジェクト」として、2つの重点プロジェクトを設定し、その間の連携の視点をそれぞれに取り入れ、また、支援する仕組み(右図③)を構築し、基本理念の達成に向けた取組を進めていきます。



## 3 前期推進計画重点プロジェクトの総合的な指標 (重要目標達成指標: KGI)

基本理念の総合的な指標である「生涯学習に取り組んでいる市民の割合」、「学びによって充実した毎日を送っていると思う市民の割合」の2つを、前期推進計画重点プロジェクトの総合的な指標である、KGIとして設定します。また、2つのプロジェクトについて、KPI (Key Performance Indicator: 重要業績評価指標の略)を設定することで、基本理念の実現、目指すべきまちの姿の達成に向けて、プロジェクトを効果的に実行。

## 2 重点プロジェクト

### 市民に身近な学習充実プロジェクト

あらゆる市民が学びたいことを学ぶことができるまちを目指し、地域交流センターの充実等により、学ぶことが市民の生活の一部となるような環境づくりへの取組を進めます。

取組の方向性等	
(1) 効果的な学習情報の提供 (P41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学や企業等を含む広範な学習情報の収集</li> <li>体系的な学習情報の提供</li> </ul>
(2) 学びにつながる仲間づくり (P42)	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSによる仲間づくり</li> <li>自発的な学習活動の支援</li> </ul>
(3) ニーズを踏まえた学習の提供 (P42)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の参画による学習メニューの構築</li> </ul>
(4) 地域への愛着を育む学習の推進 (P42)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に関する学習の提供</li> <li>地域資源の活用と地域間交流の推進</li> <li>地域に関する情報の提供</li> <li>世代を超えた知恵・知識の継承</li> </ul>
(5) 地域交流センターにおける社会教育機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育の推進 (P42.43)</li> <li>地域交流センター間の連携</li> <li>地域交流センター職員研修の充実</li> </ul>
(6) 参加しやすい学習機会の提供 (P43)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設や民間施設を活用した学習機会の提供</li> </ul>
(7) 人材の活用・充実 (P43)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成に向けた取組</li> <li>人材バンク機能の有効活用</li> <li>人材バンク機能の充実</li> </ul>

### 山口の特色を生かした学習環境づくりプロジェクト

大学や専門的な施設が多数所在する本市の特徴を生かし、高度な学習機会の提供や、地域資源発掘、人材育成の各分野において、大学等の高等教育機関や企業等と連携し、山口ならではの学習を提供する環境づくりへの取組を進めます。

取組の方向性等	
(1) 関係機関との連携強化 (P44.45)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学等との連携による多様な学習機会の創出</li> <li>地域資源の掘り起こしによる山口ならではの学習の提供</li> <li>学び直し機会の提供</li> </ul>
(2) 大学と連携した人材育成・活用 (P45)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学等との連携による学習コーディネーターの育成</li> <li>学生を活用した学習機会の創出</li> <li>人材バンク機能の充実(再掲)</li> </ul>
(3) 市の施設の特性を活用した学習機会の提供 (P45)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の特性を生かした学習の提供</li> <li>「日本一本を読むまち」づくりに向けた読書環境づくり</li> </ul>

### 計画の着実な推進

- 市の関係部署・施設間の連携強化
  - 庁内における情報の共有や連携
  - 地域交流センターや他施設との連携
- 関係機関・団体、民間等との連携・協力体制の確立
  - 関係機関・団体、民間等との連携
  - 学習の総合支援機能について検討
- 計画の進行管理
  - 広く市民の意見を聞きながら、PDCAサイクルにより検証・改善を図る体制を構築